

「重症患者における末梢静脈カテーテルによる静脈炎の発生頻度と

そのリスク因子の検討」

へご協力をお願い

平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日までに ICU で治療を受けられた方へー

研究施設名 岡山済生会総合病院

責任研究者 岡山済生会総合病院 救急科 稲葉 基高

研究主幹施設 亀田総合病院（千葉県鴨川市）

主幹施設研究責任者 亀田総合病院 集中治療科 安田 英人

■ 研究の意義と目的

この研究は、治療に必要な静脈カテーテルが患者に与える影響を、集中治療室に入室した重症患者の背景（年齢、性別、入室理由、重症度など）、静脈路の種類、投与薬剤、等の基礎データを収集し、静脈炎を主体とする合併症の発生頻度と危険因子を調査する前向きな観察研究です。

この研究は、亀田総合病院が中心となって行う多施設共同研究であり、当院もこの研究に参加します。

■ 研究対象

2018 年 1 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日までの期間に当院 ICU に入室した全ての方を対象にしています。

■ 研究期間

2018 年 1 月 1 日から 2018 年 6 月 30 日

■ 研究方法

研究者が診療録情報をもとに静脈カテーテル関連のデータを選び、静脈炎などの合併症を引き起こすリスクをコンピュータ解析を行い検討する研究です。

■ 取り扱う診療情報(データ)

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

年齢、性別、既往歴、入院理由、重症度、入室時診断、カテーテル挿入部の診察所見、投与薬剤、転帰（退院、転院、死亡など）

■ 情報の保護

情報は当院及び亀田メディカルセンターの研究施設内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

■ 問い合わせ窓口

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、ICU 退室 1 年以内に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

岡山済生会総合病院

〒700-8511 岡山県岡山市北区国体町 2 番 25 号

電話：086-252-2211(病院大代表)

職名：救急科・医師 氏名：稲葉 基高